

2024(令和6)年度 事業計画

2024/03/26

社会福祉法人 絢会

もくじ

- ◆ 理念体系
- ◆ 社会課題とインパクトゴール(成果目標)
- ◆ 2024年度基本方針
- ◆ 組織図
- ◆ 数値指標

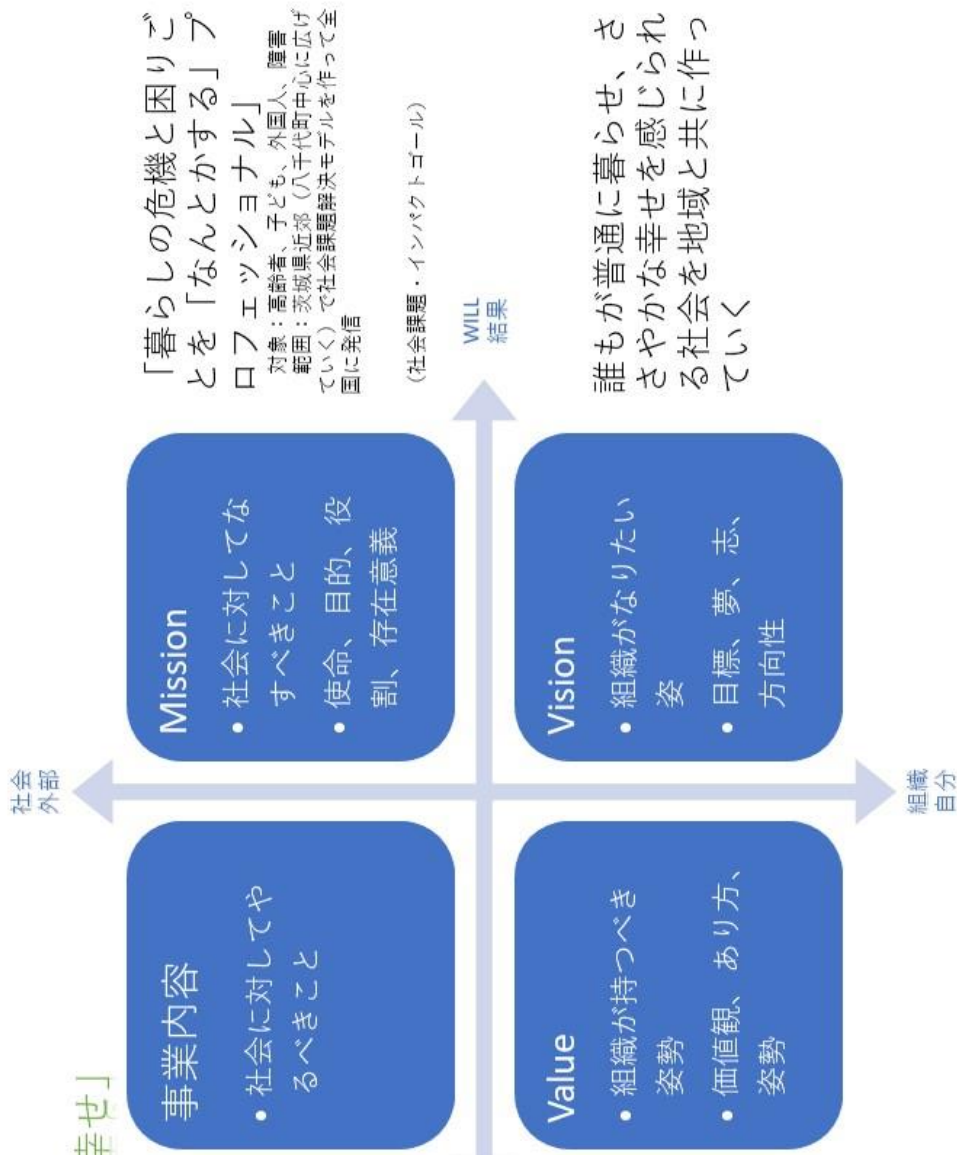
◆理念体系

基本理念「普通に暮らす幸せ」

- 社会福祉事業
- (1) 第一種社会福祉事業
 - (イ) 特別養護老人ホームの経営
 - (2) 第二種社会福祉事業
 - (イ) 老人デイサービス事業の経営
 - (ロ) 老人短期入所事業の経営
- 公益事業
- (1) 居宅介護支援事業
 - (2) 介護予防支援事業
 - (3) 世代間交流促進事業
 - (4) ボランティアの育成に関する事業
 - (5) 子ども支援事業

人を大切にし、介護を中心に福祉と真摯に向き合い、いきいきと魅力ある存在として地域福祉の中心を担う。

1人ひとりしっかりと関わる
ひとりをちゃんとケアする
人と人とのつながりを紡いでいく



「暮らしの危機と困りごとを「なんとかする」プロジェクト「エッセンシャル」

対象：高齢者、子ども、外国人、障害者
 範囲：茨城県近郊（八千代町中心に広げていく）で社会課題解決モデルを作って全国に発信

(社会課題・インパクトゴール)

誰もが普通に暮らせ、やさやかな幸せを感じられる社会を地域と共に作っていく

◆ 社会課題とインパクトゴール(成果目標)

①「諦め」が前提の要介護生活

「介護が必要になっても「諦めない」社会の実現」

②健康寿命

「健康寿命日本一の町」

③過酷な要介護生活

「介護による負担を抱える人が日本一少ない町」

④高齢者の自宅暮らしの断念

「介護によって自宅暮らしを諦める高齢者の減少」

⑤買い物難民

「日本一買い物難民が少ない町の実現」

⑥災害弱者

「災害時に避難が困難な人の『逃げ遅れゼロ』と被災者の『早期日常生活復帰』の実現」

⑦若年性認知症

「若年性認知症の人に社会的役割があり、本人と家族にかかる精神的・身体的・経済的負担の軽減ができる社会の実現」

⑧子どもの貧困

「どのような環境に生まれ育っても、全ての子どもが毎日の食事や教育機会、生活必需品、愛情など、育つために当たり前にあるべき環境が得られる社会の実現」

◆ 2024年度 基本方針

1. 社会を良くすることができる法人を目指しブランディングを高めめます。

- ファンドレイジングの手法により、社会課題解決型の組織への改革を行っていきます。理念体系の再構築と浸透を図り、社会課題を共感してもらう広報を行うことで法人のブランディングを高めめます。

2. 組織の再編を行い目的と役割を明確化します。

- 組織体制を再編します。各部署や役職の目的と役割を明確化し、職員それぞれの個性が生き、活躍できる組織を目指します。

3. 小規模ケアを実践して認知症の方も安心して過ごせる環境をつくりまます。

- 限られた資源の中でケアが業務化してしまわないように、小規模ケアを見つめなおし実践します。ICT等の活用やこれまでの仕組み、環境設定を見直すことで、認知症の方も安心して過ごせる環境をつくりまます。

4. ケアプランを活用して「QOL（生活の質）」の向上を図ります。

- 担当者を中心に一人ひとりを大切にされたケアプランを作成し、ご利用者の「QOL（生活の質）」の向上を図ります。

5. ペーパーレス化を推進し、事務作業の効率化と環境整備に取り組みまます。

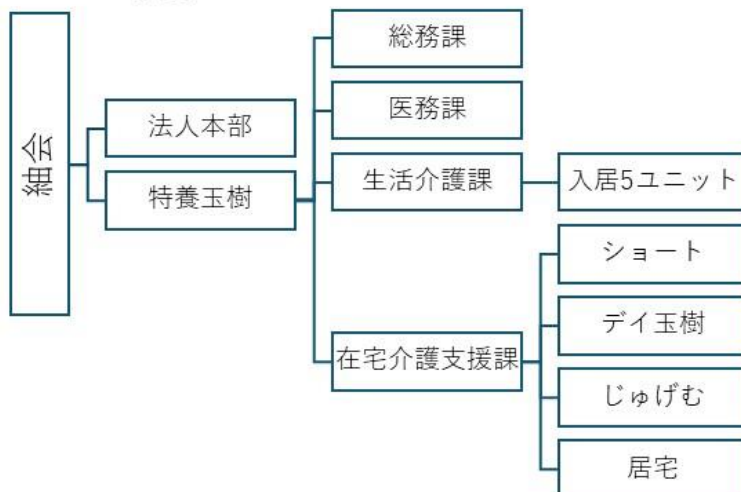
- 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を実践しペーパーレス化を推進します。事務作業の効率化とお年寄りの生活環境整備に取り組みまます。

6. 公益的な取組を推進し地域の社会課題に対応します。

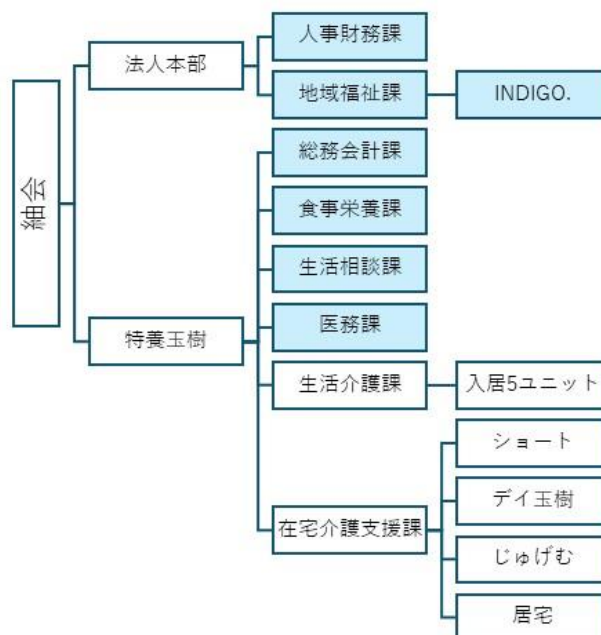
- 「コミュニティプレイスINDIGO.」での活動を中心に公益的な取組を推進します。地域住民との交流からニーズを探り、社会課題解決に取り組みまます。

◆ 組織図

2023年度



2024年度



◆ 数値指標

	特養	ショート	デイ玉樹	デイ じゅげむ	居宅介護支 援事業所
利用者定員	50	10	25	15	-
稼働日数	365	365	308	261	-
稼働率	98.0	100.0	80.0	68.0	-
一日平均利用者数	49.0	10.0	20.0	10.2	-
利用者延べ数	17,885	3,650	6,160	2,662	-
単価(1人1日当たり)	14,912	15,738	10,872	11,579	-
事業活動収入計 (千円)	266,694	57,443	70,483	30,815	28,933